



発行所 三池炭鉱労働組合 大牟田市不知火町2 電話 3033 番 7140 番 編集人 北岡 隆

この號は大地 評塗下各組合 の共同デスク です。

樂觀許さぬ中労委幹旋

不当首切り許さぬ 組合・積極的組織工作へ

三池闘争はいつに労働者の固い団結の前、中労委幹旋という新しい段階を迎えた。労働基本権を守り抜く決意を固めて、組合ではさらに闘争態勢強化のための組織点検を行っている。

七月二十日、中労委の幹旋申し入れを以て、三池炭鉱の労働者は、さきほど流血の惨害を被った。さきほど流血の惨害を被った。さきほど流血の惨害を被った。



不当首切り撤回まで頑張ろう！(10万人大会)

会社の悪あがき

支店階級は九州をはじめ中国、近畿から東海まで、さきほどの午後十一時五十分になつてようやく回答するところの状態であつた。

統一闘争の発展

会社としては結局、幹旋申し入れをのまらなければならぬ。三井山元は、生野闘争がなければならぬ。

樂觀は禁物だ

このようにいふのは、三池の山元幹部を説得するのには、政府・財界はあつた。

これは会社をめぐり支店階級のまわりの切迫した状況であり、たゞもあつた。すべて失敗に終わった。五月十九日、自民党による新安保の単独批准執行に対する国民世論の怒りは、政治情勢を大きく民主勢力に有利な方向に変え、三池闘争に対する労働者の介入を困難にした。

20